



ポラン通信



vol.6

ポラン動物病院は3周年を迎えました！ 2022年8月

4月号からすっかり間が空いてしまいましたが、こんにちは！ポラン通信です。8月5日で当院は3周年。3年のうち2年半はコロナ禍でありましたが、おかげさまでなんとか続けられております。今後ともよろしくお願いたします。

突然の病院あるある4コマ



ポランの保護猫情報

インスタグラムをご覧の方はご存知かと思いますが、今年の春は4月、5月と続けて乳飲み子が保護されました。残念ながら2頭なくなり、11頭の保護猫のうち、6頭が今も里親さんを募集中です。詳しくはインスタグラムと里親募集サイト「ペットのおうち」をご覧ください。

3月からは、譲渡会も開催するようになりました。次回は9月25日(日)とまだ先ですが予定があります。ぜひお越しくださいね。

5月の保護猫4兄弟でもって、当院は開院からの保護頭数が80頭となりました。保護しなくてはいけない動物を減らすのが本来ですが、なかなか減りません。啓発活動と保護譲渡活動と今後も継続しておこなっていきます。

ポランの歯科治療情報

ポラン動物病院がものすごくちからを入れている、それは「歯科治療」。一年前に「マイクロスコープ」という手術用顕微鏡を導入、そのほかにも根管治療(歯の神経の治療)で役立つエンドモーター、ラバーダム防湿・・・など導入し、かなり本格的に取り組んでいます。具体的には、そういった道具があることでこれまで歯がかけたら抜歯せざるを得なかったのが、歯を残すことができるようになったのです。またマイクロスコープにより20倍の視野で丁寧に歯石除去、残根しない抜歯を標準治療として行うことができるようになりました。麻酔をかけて行うからこそその最良な治療を、自信をもってご提案できます。

ポランの歯科治療内容は?

「歯石除去いくらですか?」とよくお問合せがあります。当院は「歯科治療の一環として歯石除去」を行います。歯石はあくまで歯周病の原因のひとつであり、お口のトラブルはそれだけが原因でないことがほとんどです。とくに猫ちゃんは、歯石はほとんどついてなくても抜歯が必要な病気もあるのです。

歯石除去についても、歯周病の最前線は歯周ポケット内ですから、見た目の歯石をとるだけでは意味はなく、歯周ポケットの中の歯石もとり、研磨する必要があります。また一見大丈夫そうでも歯の根っこが腐っていたり、顎の骨が溶けていることもあるので歯科レントゲンは必須です。細かい作業で今後の歯周病の進行を防ぐことができます。このあたりが無麻酔歯石除去や一般動物病院との違いですのでご検討ください。

